

## 調整池を水源とする灌漑用水を利用し、大区画で平坦な優良農地を活用した日本農業をリードするモデル的な農業を展開

- 1 現在、38の経営体によって環境保全型農業が意欲的に展開されており、令和4年度の収穫面積は1,233ha（耕地面積672ha）で、収穫された生産物は主な品目で1万8千トン以上です。
- 2 肥沃な土壌と十分なかん水により生産された農産物は品質が良く、市場や実需者から高い評価を得ています。
- 3 大規模ハウスや集出荷施設、大型農業機械など、先駆的な大規模経営に約60億円が投資され、若い農業者が育つとともに、600人を超える雇用を創出しています。
- 4 入植者の1戸当たりの経営面積は16haであり、全国平均（3.3ha）の約5倍の経営が行われています。

諫早湾干拓の耕地利用率: 197% (全国平均89.2% R4全国耕地利用率: 畑)  
 全国平均の約2.2倍 耕地のうち41haは利用権未設定、6haは県に貸付

【図 - 1】白木峰より中央干拓地を望む

【図 - 2】中央干拓地のミニトマトハウスと従業員の車の列

【図 - 3】大型機械  
 (キャベツ収穫機)による  
 収穫状況

【表 - 1】  
 新干拓地の収穫面積および収穫量

収穫面積 (R4年度)	
品目	面積(ha)
露地野菜	408
施設園芸	21
単棟ハウス	72
飼料作物	396
その他	170
緑肥	166
計	1,233

  

主な品目別収穫量 (R4年度)	
品目	収穫量(t)
レタス	約6,500
たまねぎ	約6,100
キャベツ	約3,200
ブロッコリー	約1,800
にんじん	約990
計	約18,590